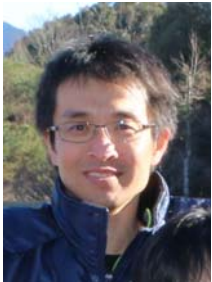


クラス番号	616	担当教員名	川上 知幸
テーマ	被虐待児への専門的支援と多職種連携		
著書・論文 研究課題等	<p>【主著・論文】</p> <p>「家庭的養護実践の意義と職員間連携の課題」『子どもと福祉 Vol.13』明石書店,2020年</p> <p>「児童養護施設の小規模化が職員の間人関係に与える影響」『保健の科学 Vol.62』杏林書院,2020年</p> <p>『社会的養護』学文社,2020年(共著)</p> <p>【研究課題】</p> <p>子どものケア実践と職員間連携への影響</p>		
ゼミナール概要			
キーワード： 子ども虐待、愛着障害、心理ケア、児童心理治療施設、多職種連携			
<p>【目的、内容、方法等】</p> <p>近年、子ども虐待によって子どもの尊い命が奪われてしまう事件が後を絶ちません。また、虐待環境から保護され命は助かったものの、虐待をはじめとする不適切な養育によって心の傷や発達上の課題を抱え、生きづらさを感じている子どもも少なくありません。中には重篤な症状、障害を抱え、心理や医療を含む専門的支援を必要とするケースもあります。心の傷は簡単に癒えるものではありません。周囲の支援者、社会が連携を組んで、日常生活から医療に至る総合的な支援環境(ケア体制)を整えることが必要です。</p> <p>このゼミでは、「被虐待児をケアする総合的な支援環境とは何か」や「専門職の役割と課題」を学ぶこと、また「ゼミ参加者一人ひとりができること」を見出すこと、を目的に授業を展開します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども虐待の現状と虐待が子どもに与える影響について学習し、適切なケア、支援のあり方について学びます。 ・児童福祉施設における治療的養育と多職種の連携について基礎を学ぶとともに、課題を検討します。 ・ディスカッション形式を中心とし、学び合う場とします。 ・実際の事例(一部編集あり)をもとに、ケース検討を行います。 			
<p>【授業計画】</p> <p>□3年次</p> <p>①文献を用いた学習やディスカッションを通して、子ども虐待や関連する障害等についての基礎知識を押さえます。</p> <p>②施設見学や研究(研修)会参加などフィールドワークを行い、子どもたちの実際や支援現場の実情に触れます。</p> <p>※ただし、コロナ禍において実施が困難な場合もあります。</p> <p>③ ①②のまとめや議論を通して、より理解を深めたいテーマを絞り込み、4年次の調査・卒論執筆につなげます。</p> <p>□4年次</p> <p>①前期は、テーマに従った文献学習、調査を行い報告会を実施します。意見交換を通して分析や考察を深め、卒論の執筆をはじめていきます。</p> <p>②後期開始時に卒論下書きを提出。添削指導、ピアレビュー、修正を重ねて卒論を完成させていきます。</p>			
担当教員からのメッセージ			
	<p>担当教員は、児童心理治療施設や児童養護施設の現場に携わり、さまざまな子どもたちと出会ってきました。子どもたちは苛酷な人生を歩みながらも、懸命に生き、その強さに圧倒されることもしばしばあります。子どもたちの抱える困難も強さも、私たちはまだまだ見えていないのでしょう。私たちには何が必要なのか、このゼミで教えられる「答え」はありません。ともに考えていきましょう。</p> <p>そのためのヒント、材料をリアルに子どもたちが提供してくれます(事例やフィールドワークを通して)。子どもたちに誠実に向き合っ、主体的に取り組みたい学生さんを歓迎します。楽しい学びの共同体をともに作ろう！</p>		